

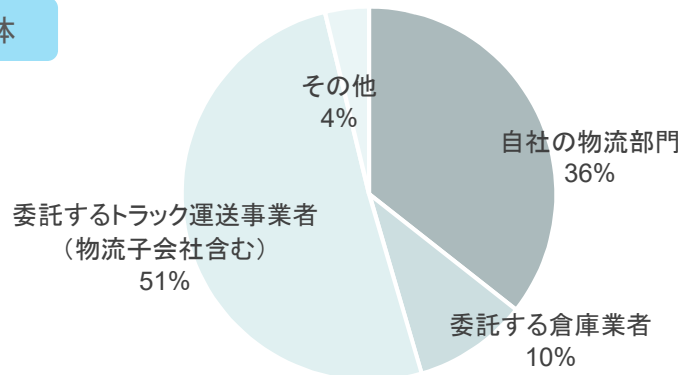
附帯作業に関する実態調査結果

調査概要

- 調査目的：トラック事業者の荷役作業等の実態や荷主の業態別による荷役作業等の発生状況を把握し、トラック事業における取引慣行の改善や労働時間短縮のための対策検討に向けてデータ収集するための調査を実施する。
- 調査対象者：出荷、荷受等においてトラック輸送を利用する真荷主事業者。
- 調査方法：業界団体を通して各事業者に対する調査依頼及び郵送（2,000事業者）による調査依頼を実施。回答はWEB画面に入力する方法により実施。
- 集計対象事業者：全体の回答者数（1,584サンプル）のうち、輸送品目として建設資材に関する品目は積込み時の附帯作業のサンプル数 127、納品時112サンプル。
- 調査期間：令和2年2月13日～同年2月28日

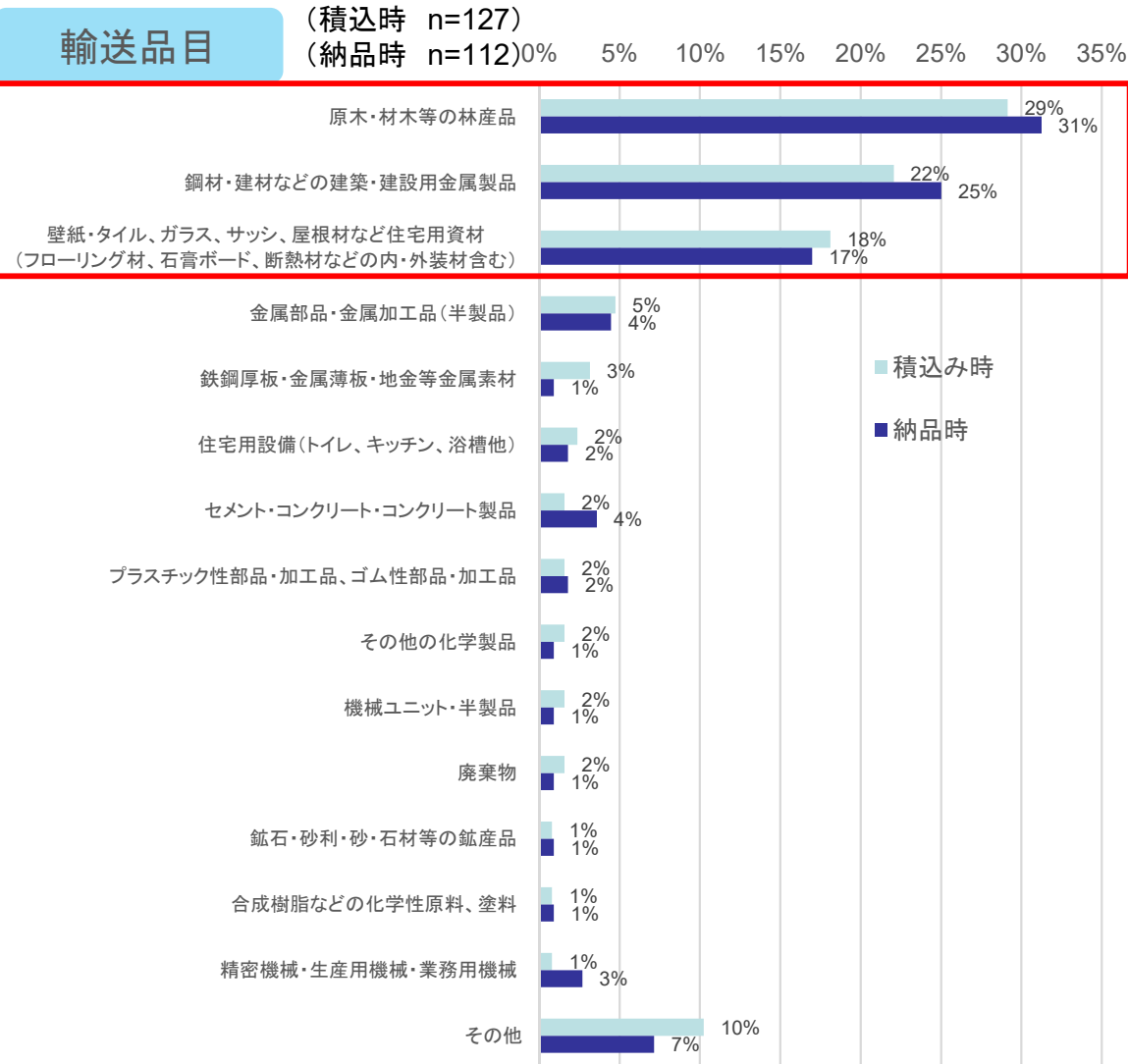
- 自社の物流部門以外は64%と高い比率となっている。そのため、荷主等においては、委託先任せになり改善が進まないケースがあると推察される。

物流業務を担う主体



- 本調査における輸送品目は、「原木・材木等の林産品」、「鋼材・建材などの建築・建設用金属製品」、「壁紙・タイル、ガラス、サッシ、屋根材など住宅用資材（フローリング材、石膏ボード、断熱材などの内・外装材含む）」の3つが多い。

輸送品目



調査結果概要

調査項目	結果概要
場所別に発生する附帯作業の種類	<p>○出荷時の附帯作業について、ほとんどの場所で「積み込み作業等」が最も多い。メーカー工場・倉庫では「貨物の荷造り作業」「宵積み」が続く。</p> <p>○納品時の附帯作業について、全て場所で「荷降し作業等」が多い高い。建設資材メーカーの工場・倉庫とハウスメーカー工場での附帯作業は多岐にわたる。</p>
場所別の附帯作業の機械化の状況	<p>○出荷時の附帯作業の手段（手荷役、機械化等）として、全般的にフォークリフト（パレット）等を活用」が多い傾向。工事現場及び建築現場では「手荷役あり」の比率が高い。</p>
附帯作業の問題点	<p>○出荷時及び納品時ともに、「手荷役があり、作業時間を要する」、「積み込、荷卸時に待機時間が発生している」が高い比率となっている。</p>
改善取組の状況	<p>○出荷時及び納品時ともに、「積み込、荷卸時における待機時間削減のための対策（時間指定、時間予約等）」が最も多く、「作業安全を確保した」、「複数箇所における荷積み、荷卸の見直し（集約化）」と続く。</p>
附帯作業料金の収受状況等改善取組状況 取引条件の見直し申入状況	<p>○附帯作業料金について、「製品価格に込みで明示していない」とする比率は43%と高く、附帯作業料金を収受できない原因の一つとなっている。一方で「製品価格とは別建てにより明示」は33%。</p> <p>○取引条件の見直し交渉については、「交渉したが成果はない」（22%）、「交渉していない」（35%）が高く、納品先への申入れ、交渉が充分でない可能性がある。</p>

【実態調査】附帯作業の詳細把握のための実態調査報告【対荷主調査】(3/17)

- **出荷時の附帯作業**について、全ての場所で「積込み作業」が最も多い。メーカー工場・倉庫では「貨物の荷造り作業」「宵積み」が続く。

建設資材メーカーの工場・倉庫

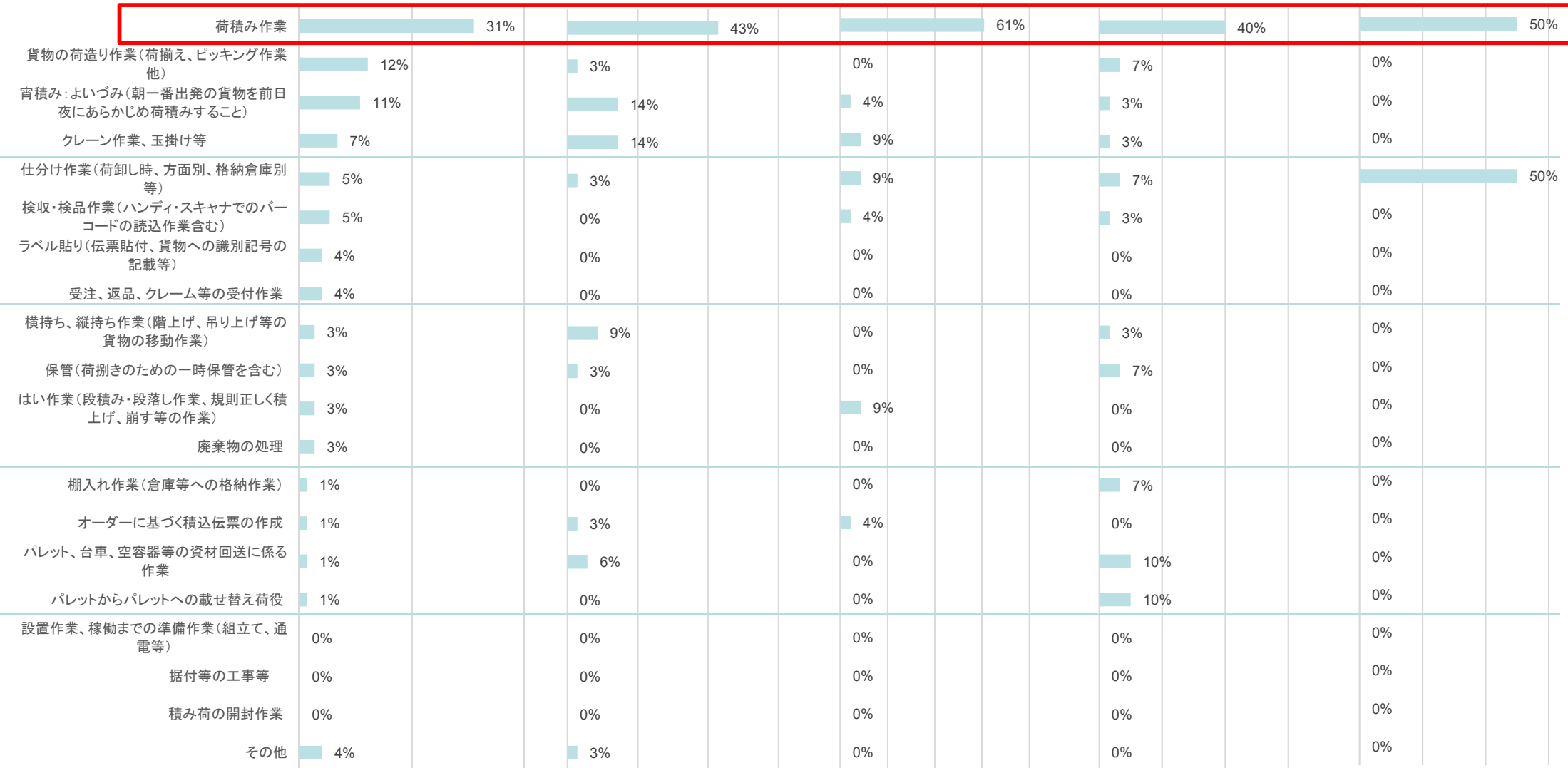
加工事業場・倉庫

卸売市場(材木市場等)

卸、建材店等の倉庫

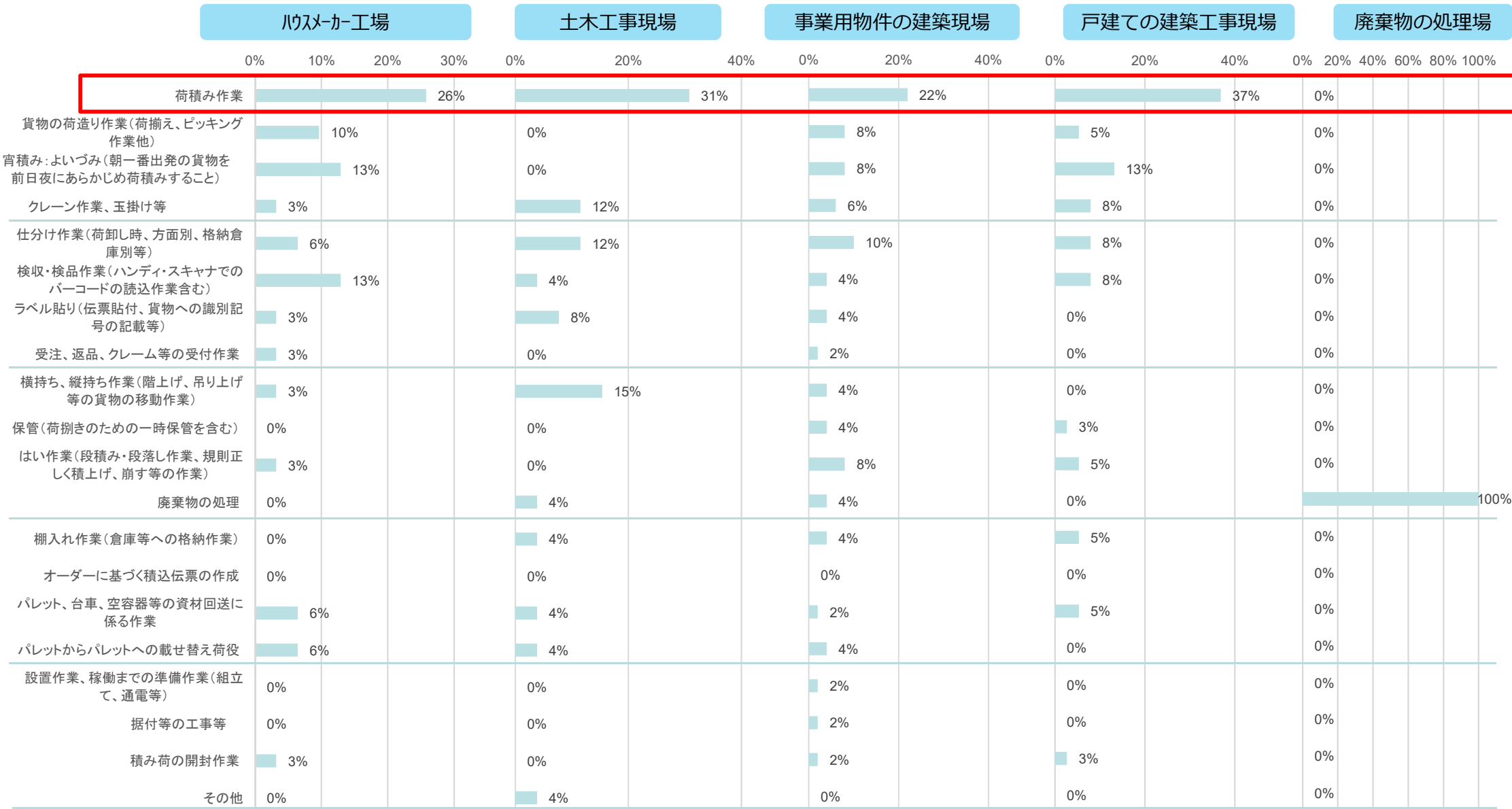
ホームセンター等

0% 20% 40% 60% 80% 0% 20% 40% 60% 80% 0% 20% 40% 60% 80% 0% 20% 40% 60%



【実態調査】附帯作業の詳細把握のための実態調査報告【対荷主調査】(4/17)

- 出荷時の附帯作業について、ハウスメーカー、工事現場では、「積み込み作業」が最も多い。メーカー工場等、卸では「宵積み」が続く。（工事現場での積込は、足場、重機、その他工事関係備品、返品建設資材などの輸送品目）

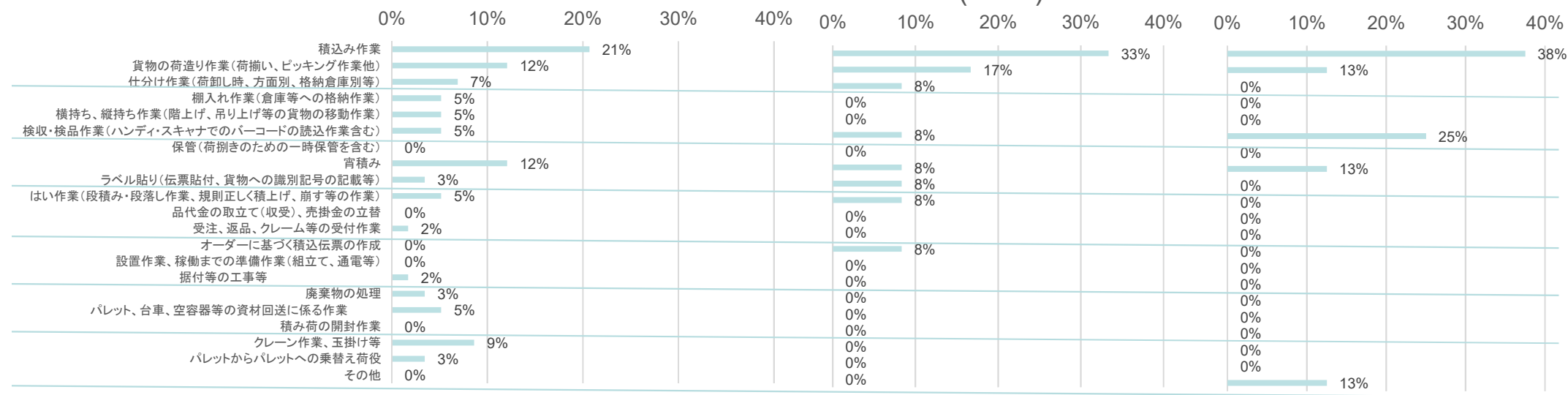


出荷時：場所別の付帯作業の内容

建設資材メーカーの工場・倉庫(n=58)

加工事業場・倉庫
(n=12)

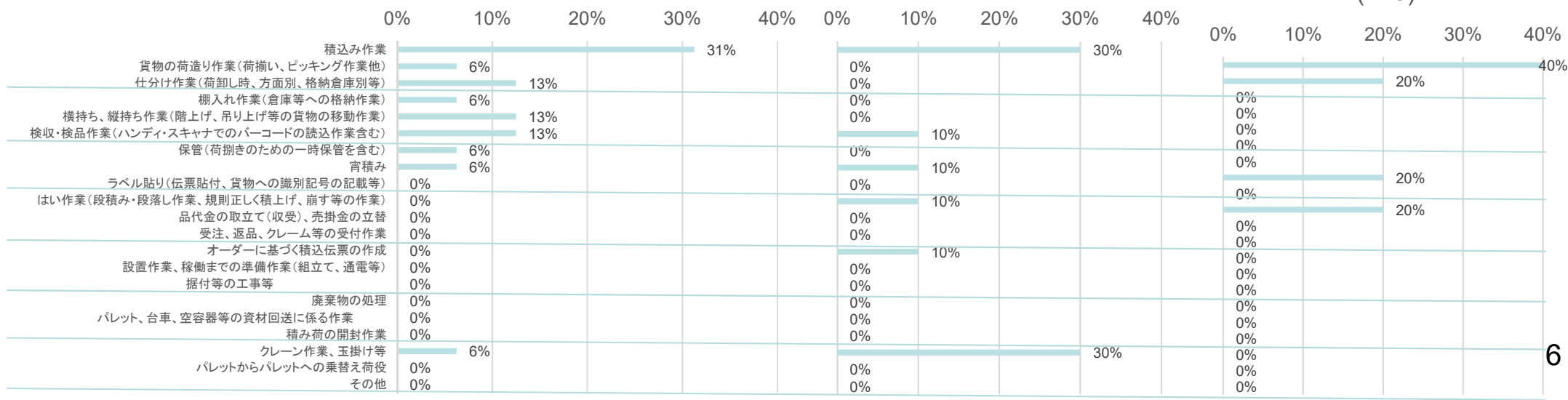
ハウスメーカーの工場・倉庫
(n=8)



建築工事現場(集合住宅、事業用不動産等)(n=16)

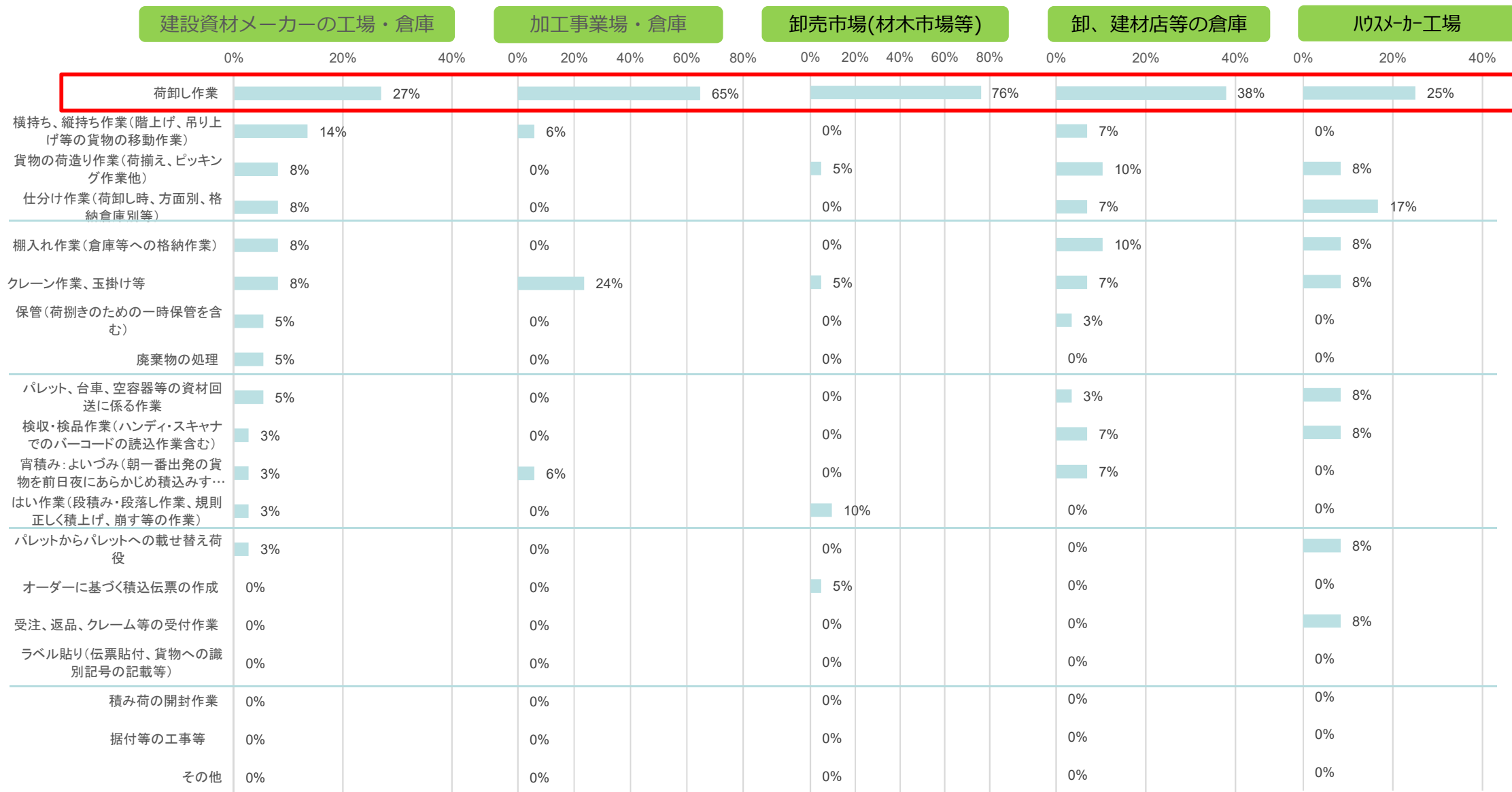
土木工事現場(道路、鉄道、橋梁、港湾等)(n=10)

建築工事現場(戸建等)
(n=5)



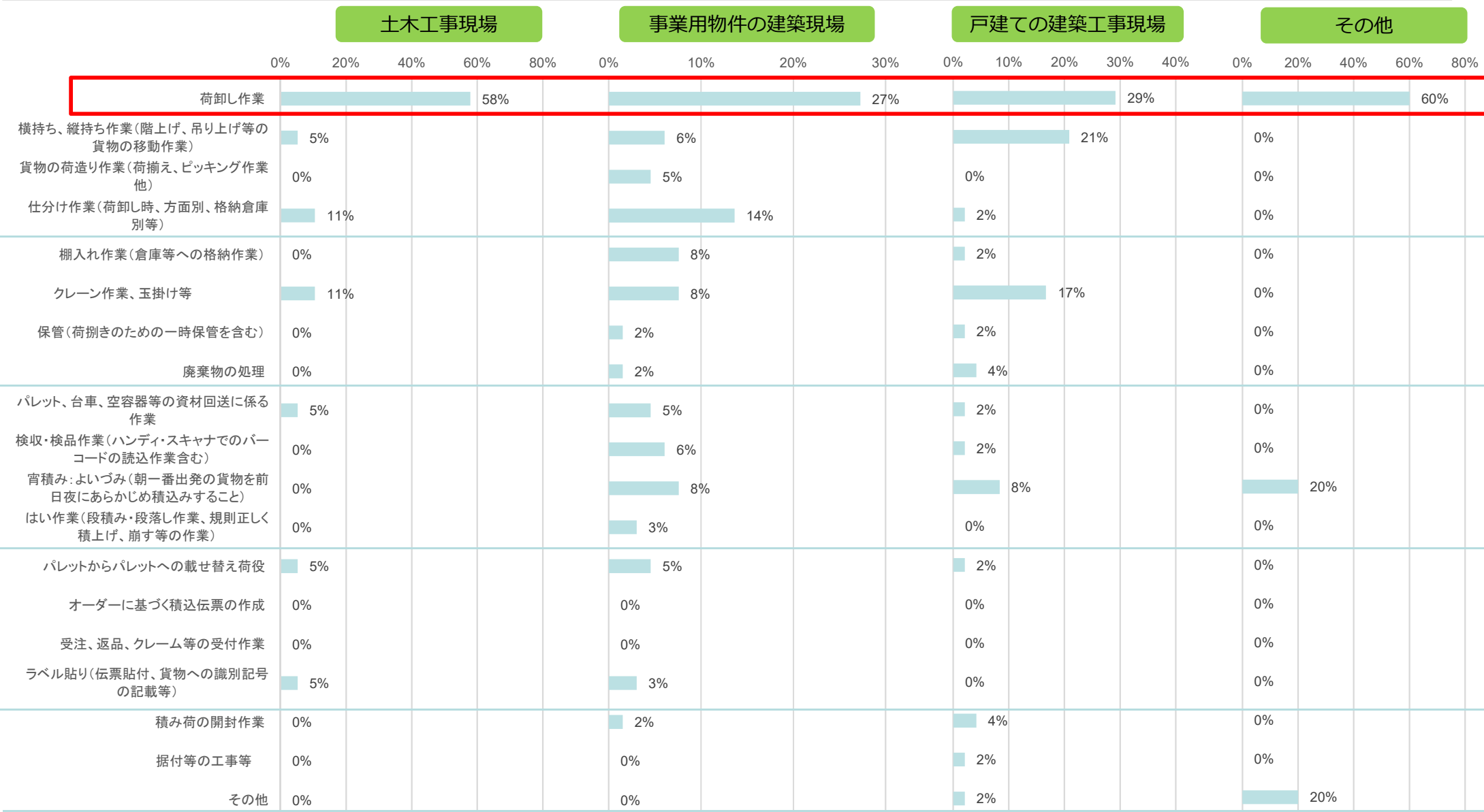
【実態調査】附帯作業の詳細把握のための実態調査報告【対荷主調査】(6/17)

● **納品時の附帯作業**について、全て場所で「荷降し作業」が多い高い。建設資材メーカーの工場・倉庫とハウスメーカー工場での附帯作業は多岐にわたる。

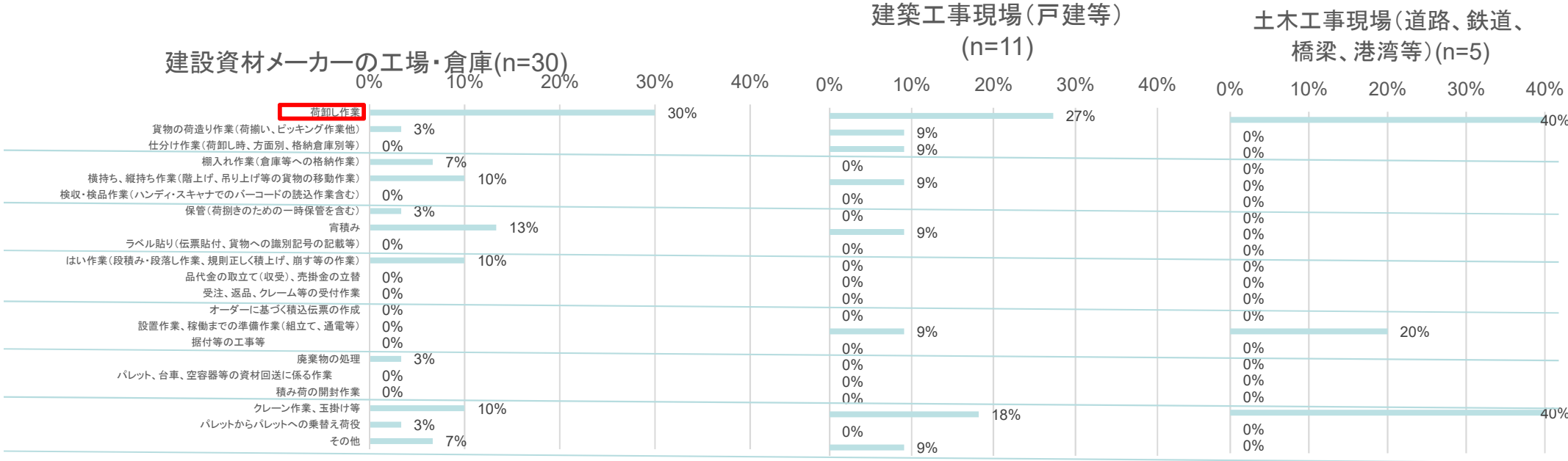


【実態調査】附帯作業の詳細把握のための実態調査報告【対荷主調査】(7/17)

- **納品時の附帯作業**について、全ての場所で「荷降り作業」が最も多い。また、事業用物件（集合住宅、オフィスビル等）の建築現場での附帯作業は多岐にわたる。



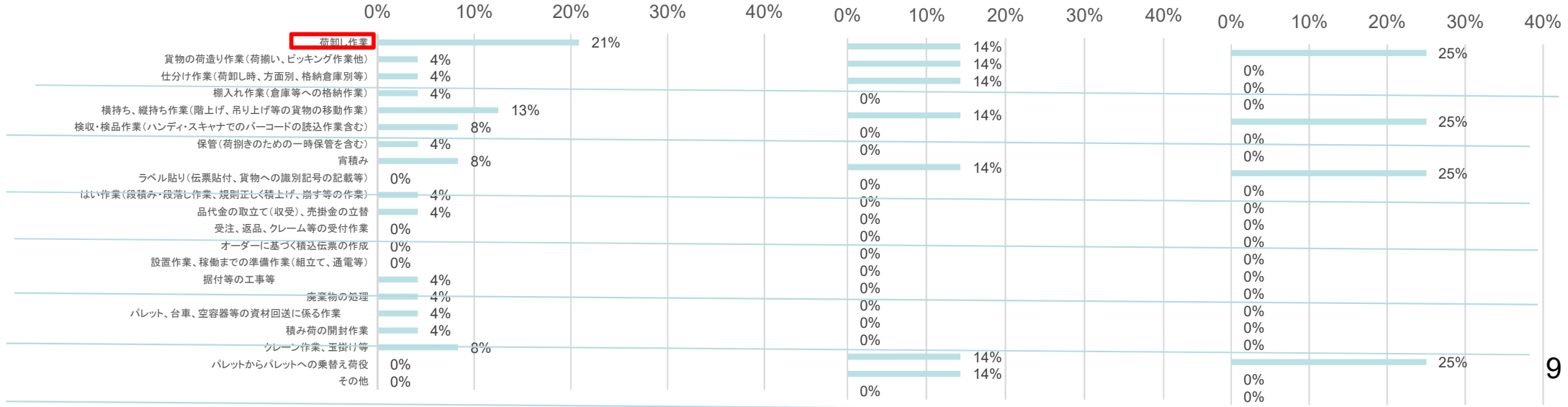
納品時：場所別の附帯作業の内容



建築工事現場(集合住宅、事業用不動産等)(n=24)

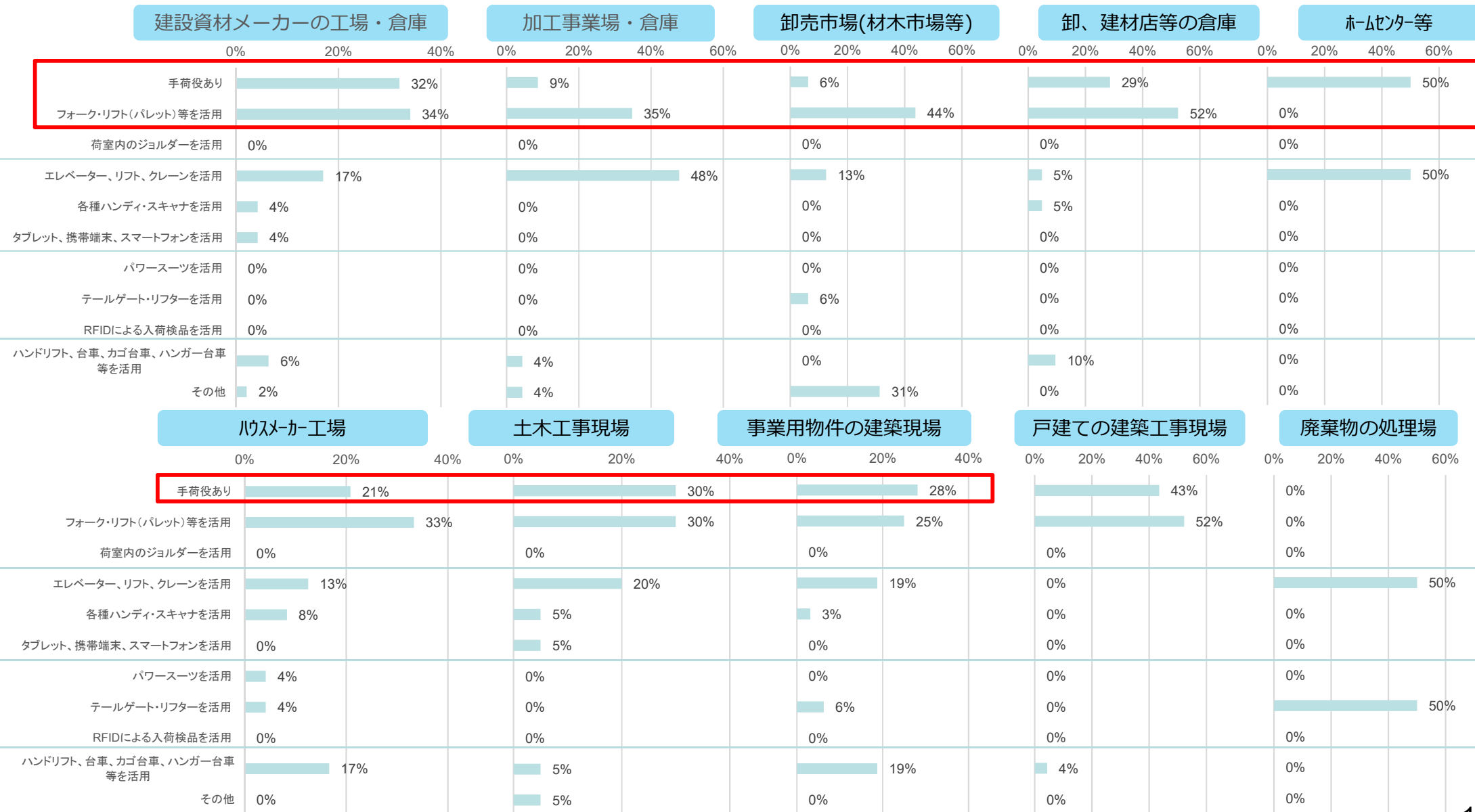
加工事業場・倉庫(n=7)

卸売市場(材木市場等)(n=4)

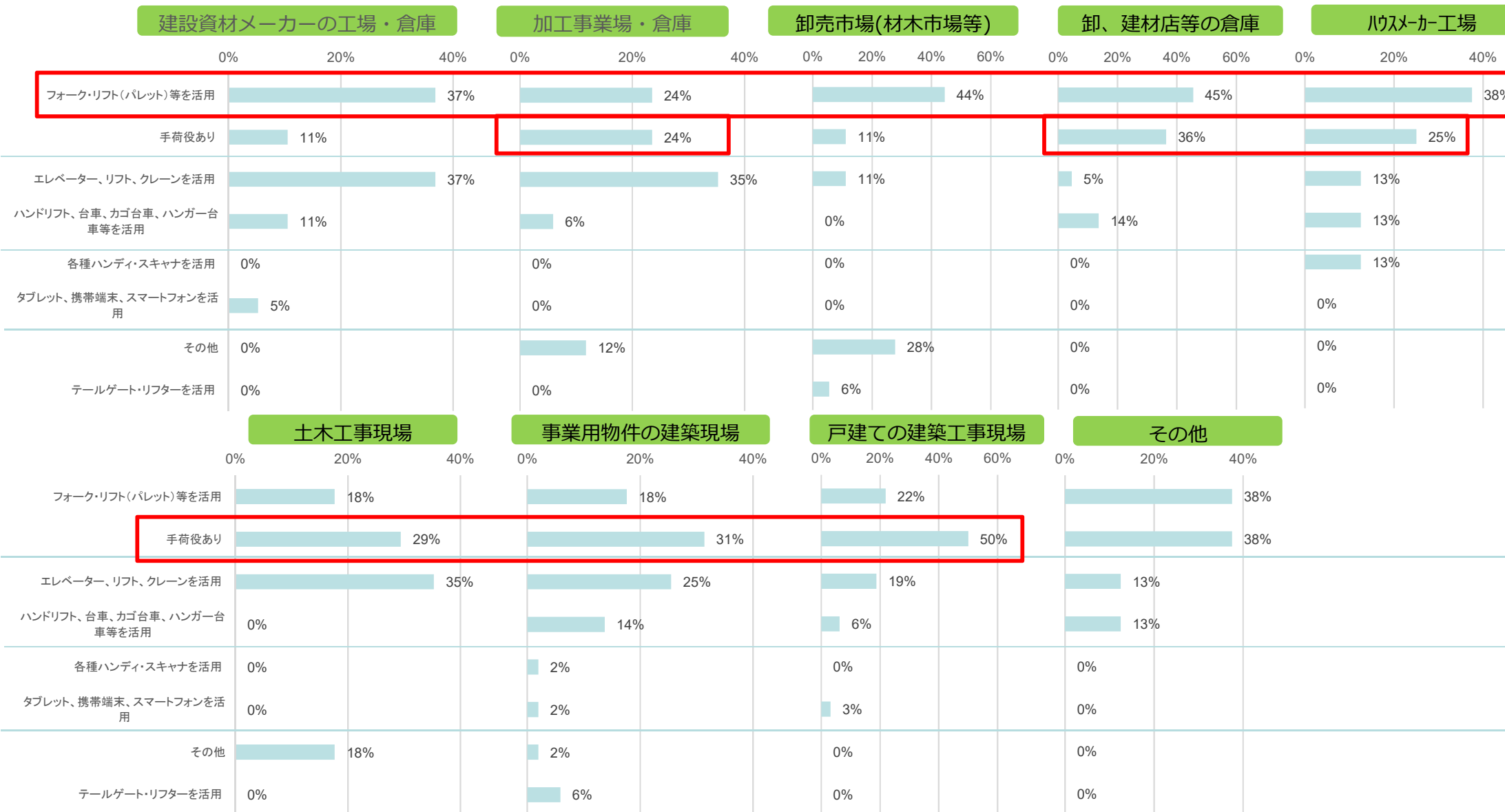


【実態調査】附帯作業の詳細把握のための実態調査報告【対荷主調査】(9/17)

- 出荷時の附帯作業の手段（手荷役、機械化等）においては、手荷役が多い傾向にある。特に工事現場及び建築現場では「手荷役あり」と「フォークリフト（パレット）等を活用」の両者が多い傾向にある。（工事現場での積込は、足場、重機、その他工事関係備品、返品建設資材などの輸送品目）

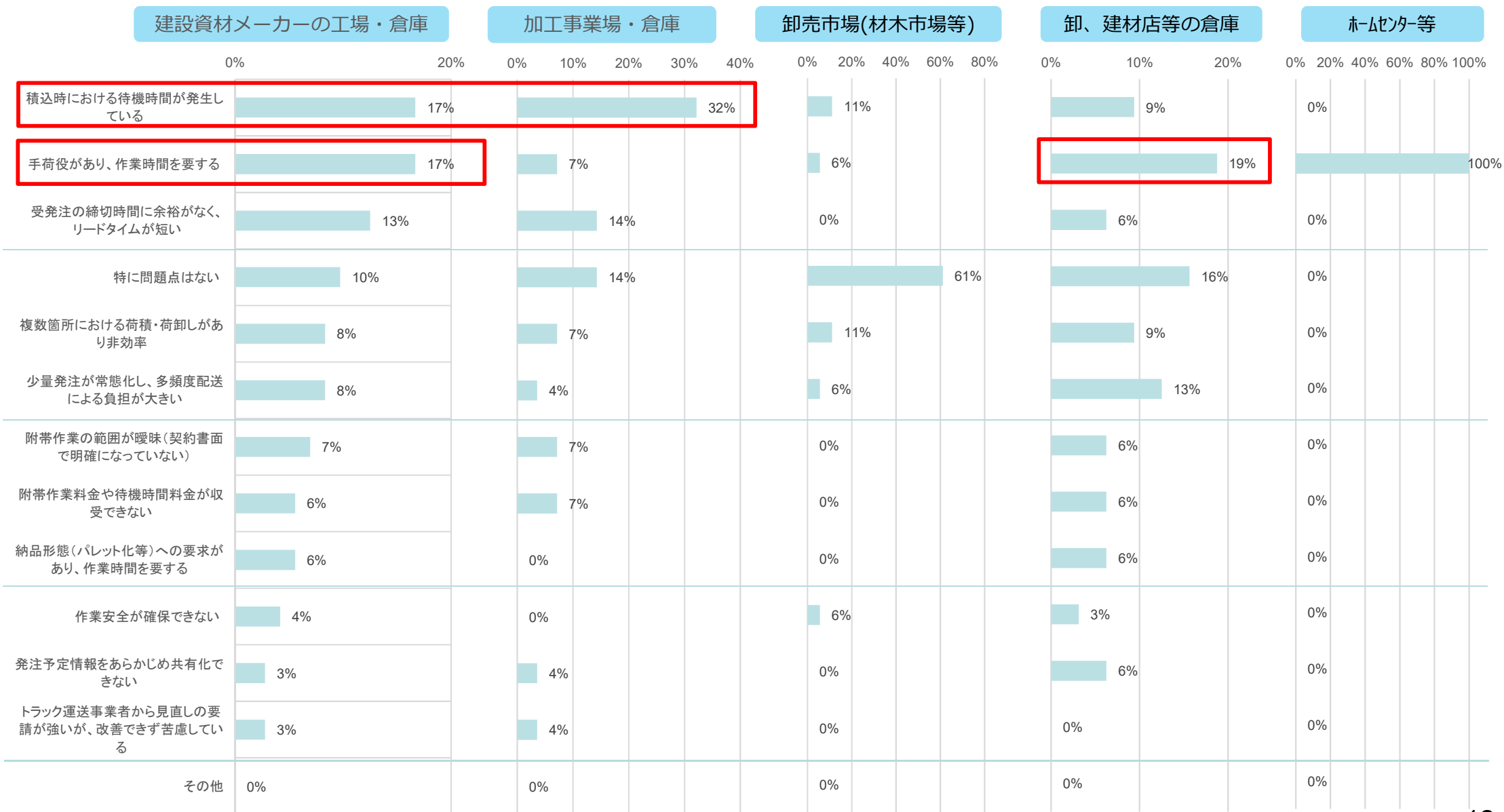


- 納品時の附帯作業の手段(手荷役、機械化等)として、「フォークリフト(パレット)等を活用」が全体的に多いが、加工事業場・卸、建材店等・ハウスメーカー工場・工事現場では手荷役が多い。

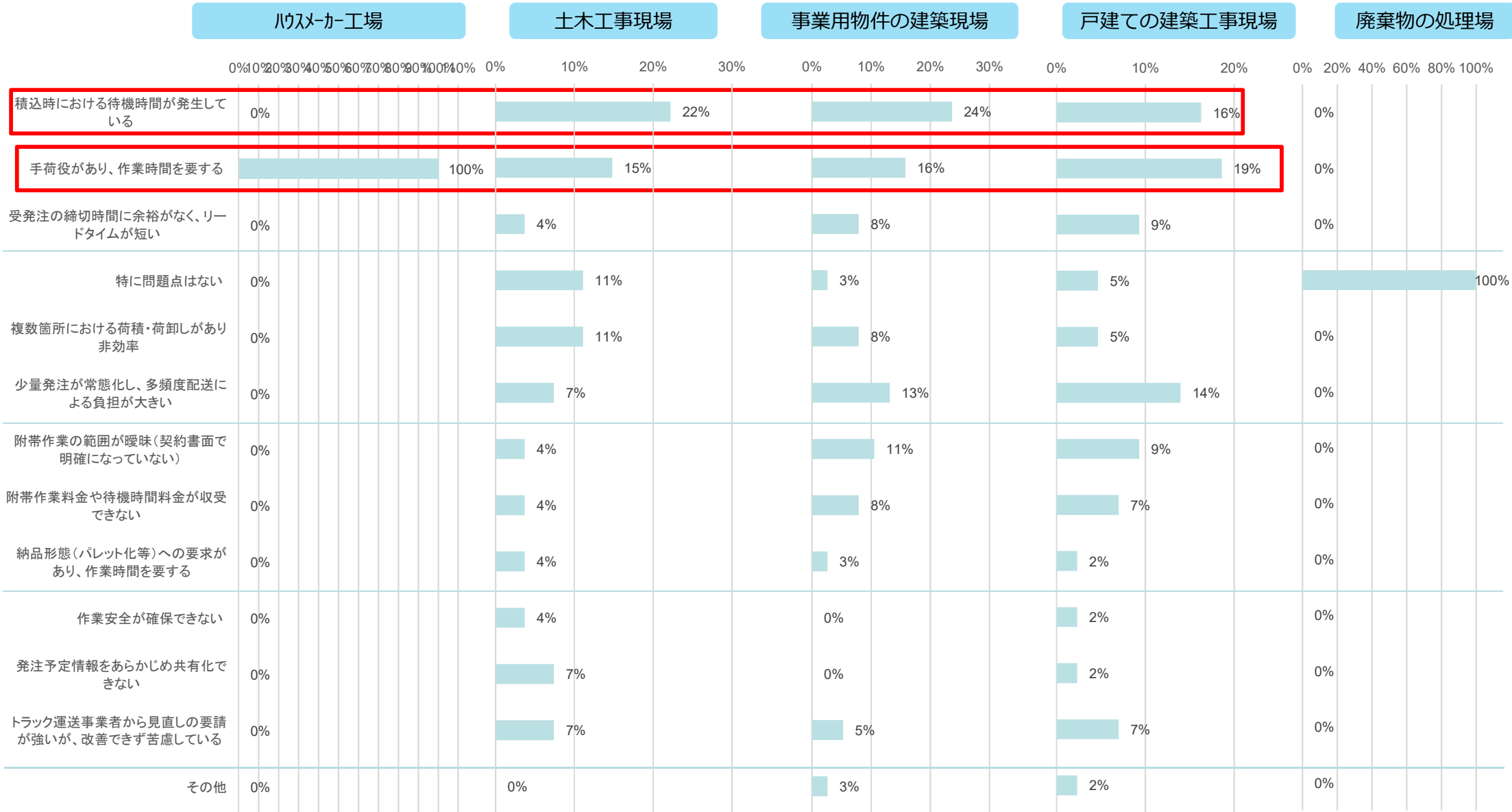


【実態調査】附帯作業の詳細把握のための実態調査報告【対荷主調査】(11/17)

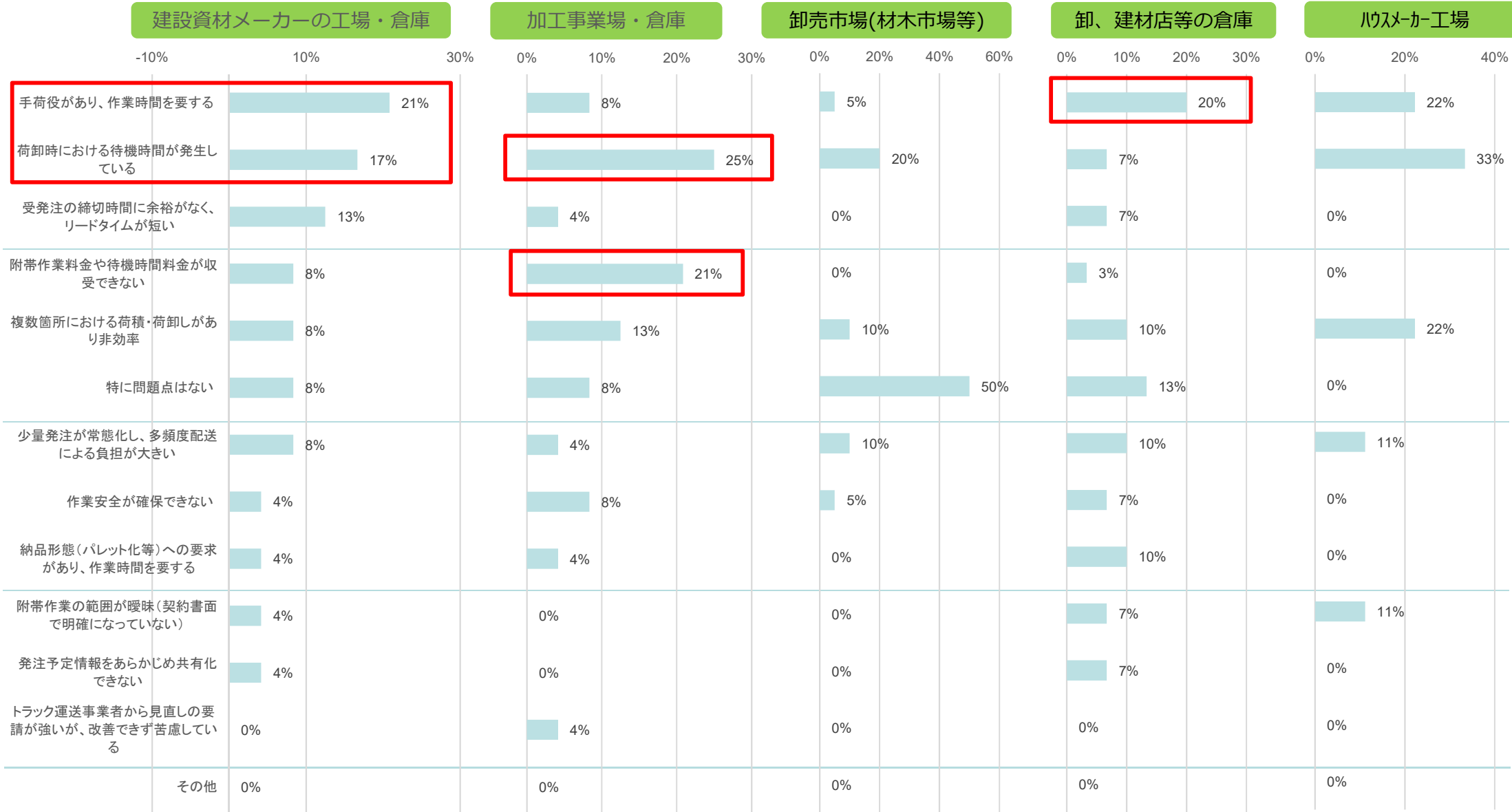
- 出荷時の附帯作業の問題点として、「積込時における待機時間が発生している」、「手作業があり、作業時間を要する」が多い。



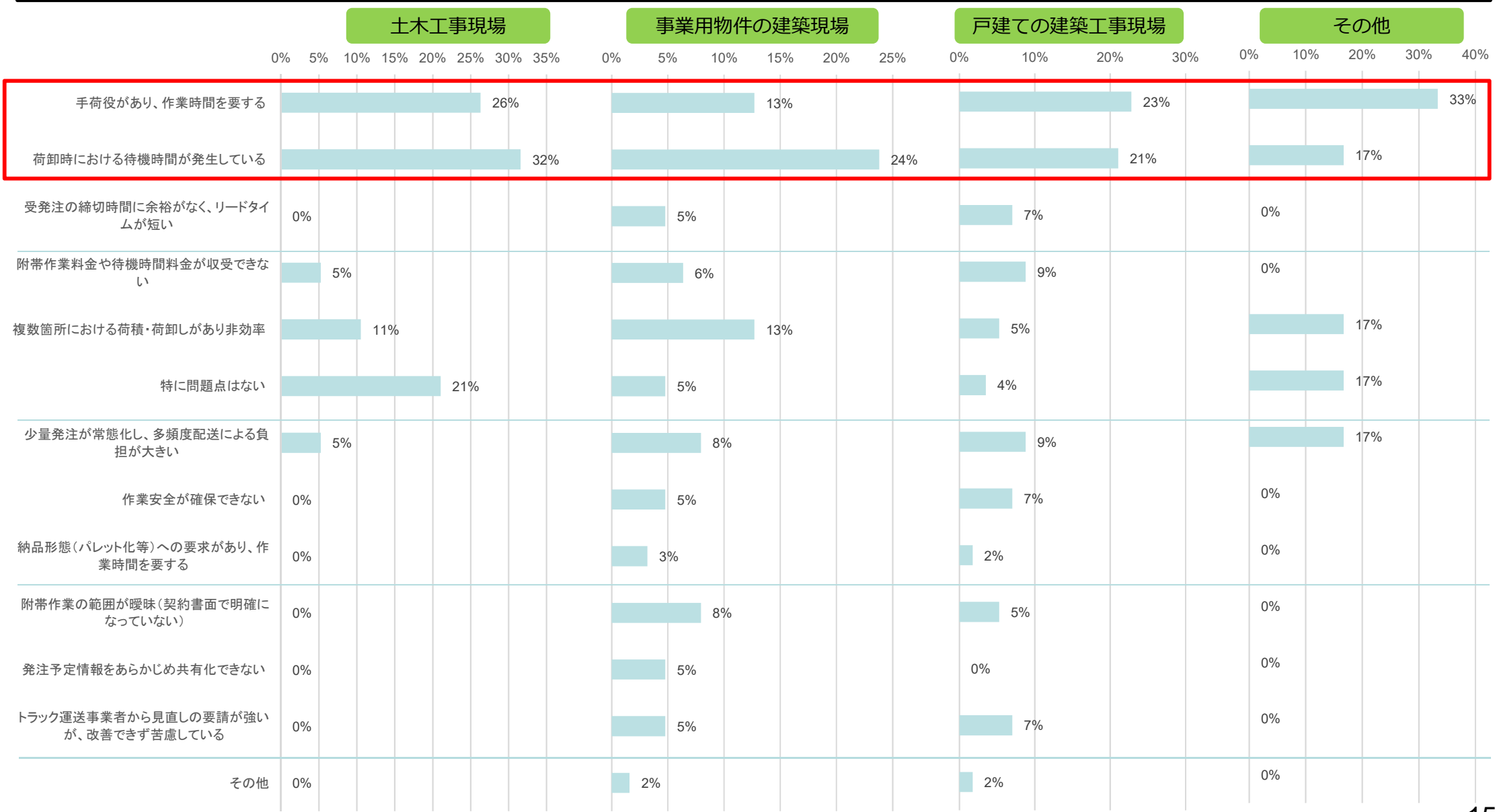
- 出荷時の附帯作業の問題点として、「積込時に待機時間が発生している」が全体に多く、工事現場、建築現場では「手荷役があり、作業時間を要する」が多い。



● 納品時の附帯作業の問題点として、「手荷役があり、作業時間を要する」、「荷卸時に待機時間が発生している」が多い。

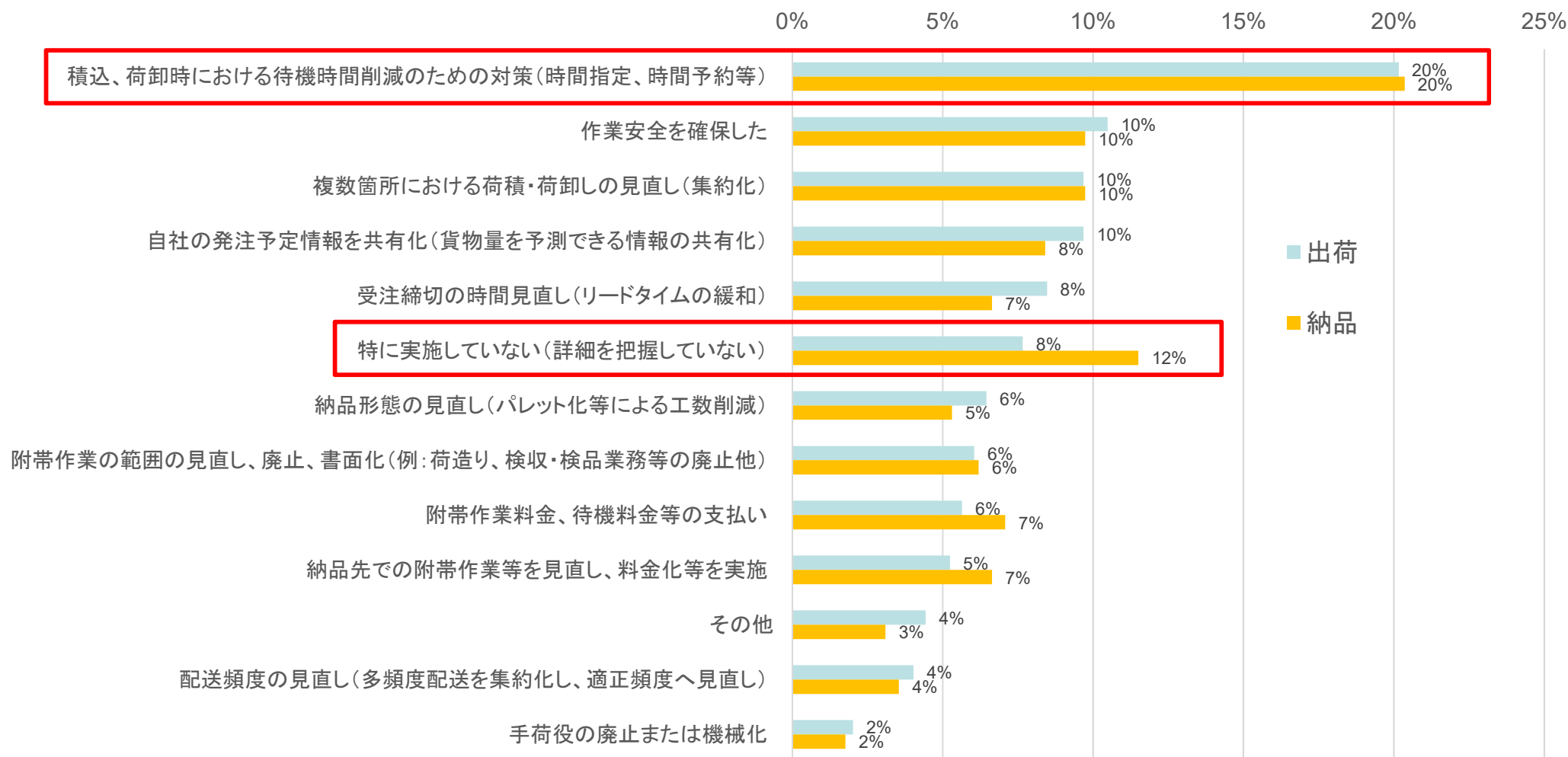


● 納品時の附帯作業の問題点として、「手荷役があり、作業時間を要する」、「荷卸時に待機時間が発生している」が多い。



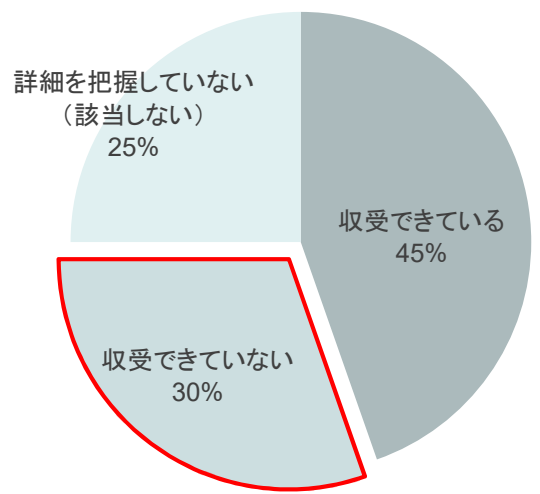
- 入出荷時の改善取組みとして、「積込、荷卸時における待機時間削減のための対策（時間指定、時間予約等）」が出荷及び納品において20%と最も多い。「特に実施していない（詳細を把握していない）」は納品先で12%。

(n=23)

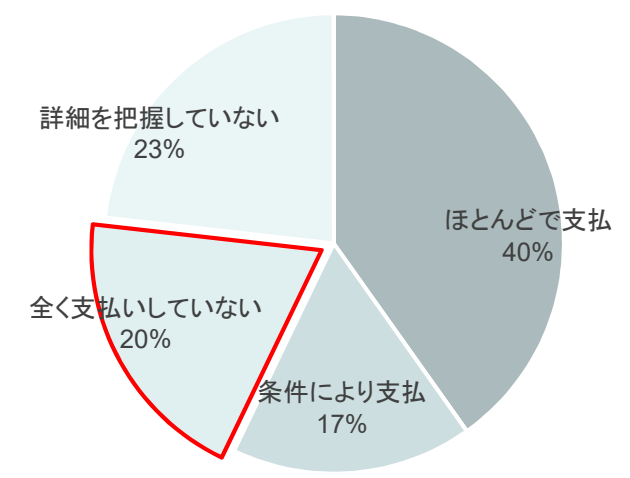


- 納品先からの付帯作業料金の收受状況は「收受できていない」は30%、トラック運送事業者に対して「全く支払していない」は20%となっている。
- 付帯作業時の損害保険の加入比率は38%。契約書面等で付帯作業について明確にされていない比率は34%。

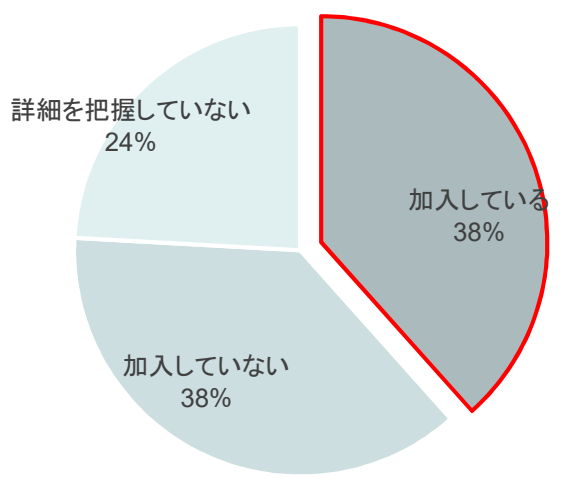
納品先からの付帯作業料金收受の有無 (n=23)



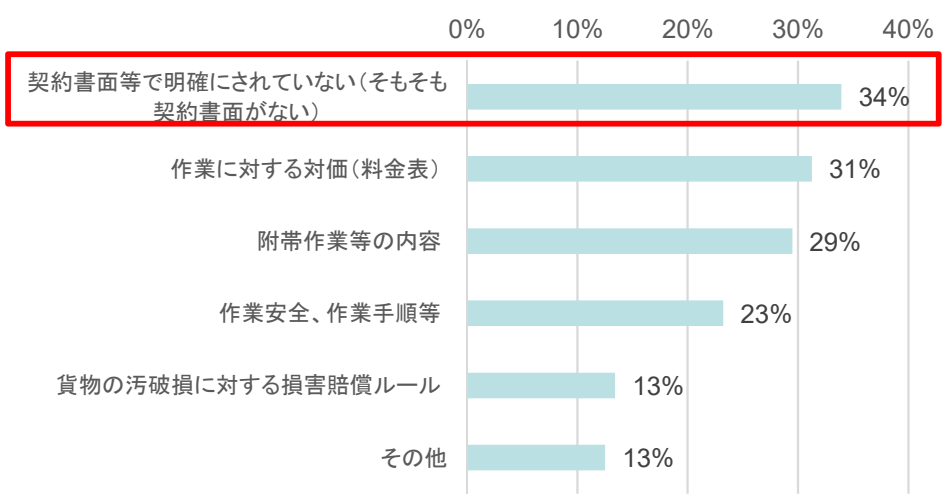
トラック運送事業者等への付帯作業料金の支払い (n=23)



損害保険加入の有無 (n=23)



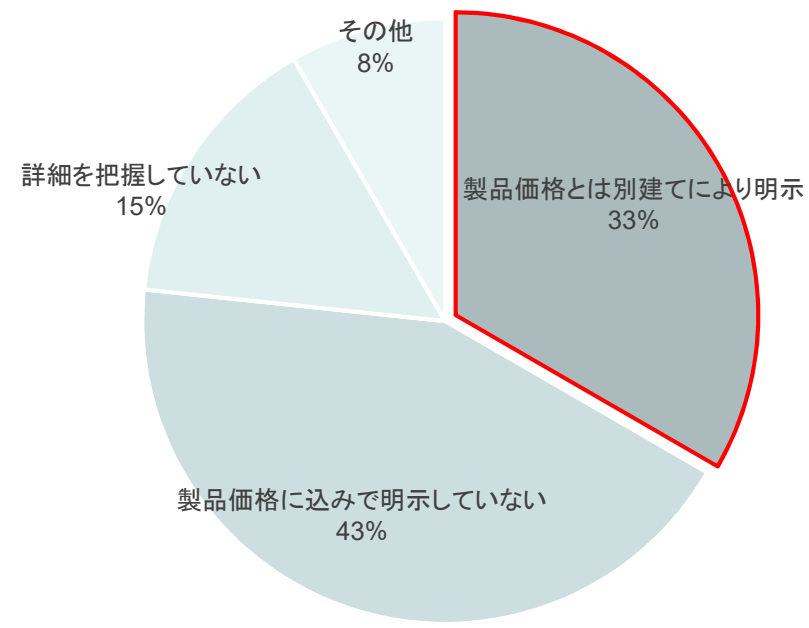
契約書面の記載事項 (n=23)



- 附帯作業料金について、「製品価格とは別建てにより明示」とする比率は33%、一方で「製品価格に込みで明示していない」とする比率は43%。
- 取引条件の見直し交渉について、「交渉し料金收受等の成果があった」は22%であるが、一方「交渉したが成果はない」(22%)、「交渉していない」(35%)と半数以上を占め、納品先への働きかけが充分でない可能性がある。

附帯作業料金の明示

(n=23)



取引条件見直し向上とその成果

(n=23)

